

こんな活動をしています

認知症の方やその家族が、状況に応じて必要な医療や介護等のサービスが受けられるよう、関係機関との連携体制を作ります。

- 医療機関や介護サービス事業所、認知症サポーターなど地域において認知症の方を支援する関係者との連携を図ります。
- 認知症ケアパス(状態に応じた医療や介護サービス提供の流れ)の作成・普及

地域における認知症の方とその家族を支援する相談支援や支援体制を構築するための取組をします。

- 認知症の方やその家族から相談があった際、相談支援を実施します。
- 認知症初期集中支援チームと連携を図るなど、状況に応じた必要なサービスが提供されるよう調整します。

認知症の方の家族に対する支援事業に関する企画、調整を行います。

- 認知症カフェ(認知症の方、家族、地域住民、専門職等の誰もが参加でき、集う場)の開設や運営の支援を行います。



認知症地域支援推進員への相談・お問合せ先

- 相談日:月曜日から金曜日、なお、祝日及び年末年始(12/29～1/3)を除きます。
- 利用時間:9時00分～17時30分

こちらからどうぞ!



名 称	所在地	地区担当
岩見沢市 地域包括支援センター	鳩が丘1丁目1番1号 (岩見沢市役所1階) ☎(0126)25-4649	担当地区はありませんが、各包括支援センターの後方支援を行います。
地域包括支援センター ほろむい	幌向南2条3丁目311 ☎(0126)32-6622	西11丁目～、美園、大和全域、上幌向全域、幌向全域、中幌向、双葉、御茶の水
南地区 地域包括支援センター	南町7条2丁目5番17号 ☎(0126)32-0300	東山全域、緑が丘、駒園、南町、志文全域、上志文、下志文、ふじ、金子、朝日、清水、奈良、毛陽、栗沢町全域
北地区 地域包括支援センター	北2条西12丁目4番1号 ☎(0126)33-5383	西1～10丁目、並木、春日、鳩が丘、有明、北条丁目、北本町、緑、桜木、稔、西川、若松、大願、北村全域
東地区 地域包括支援センター	5条東16丁目9 ☎(0126)35-7655	東条丁目、元町、若駒、かえで、日の出全域、栄、東、岡山、峰延、宝水

もしかして認知症…? そんなとき 岩見沢市認知症 地域支援推進員 がいます



認知症が心配な方の相談に対応します

必要な支援が受けられるよう関係機関と協力します

認知症カフェ等の開設や運営を支援します

認知症の理解を深めるため普及啓発活動を行います



本人や家族の悩みや想いにどのように相談を受けていったのか事例を紹介します

夫から認知症かなと心配されている A さん
(70代 女性)

相談内容

夫と2人暮らしのAさんは、数年前から家事や入浴をしないことが増え、これまで続けていた内科の定期通院もやめてしまいました。夫から家事や外出を勧められても断わり、テレビを見て過ごすことがほとんどです。夫はAさんの様子を心配し地域包括支援センターへ相談しました。



対応

認知症地域支援推進員が自宅に訪問しAさんとお話をしました。普段の様子を聞くと、炊飯器や洗濯機の使い方を忘れる、料理や物の名前を思い出すのに時間がかかると言い、不安な気持ちで毎日を過ごしていることが分かりました。物忘れの原因を調べるため受診を提案、専門医に診てもらい「脳血管性認知症」の診断を受けました。医師からは介護保険サービスの利用を勧められ、要介護認定の申請をしました。

現在の様子

要介護の認定を受け、デイサービスを利用しています。最初は不安でしたが今では毎週楽しみにしています。精神科を受診したことで、内科の定期通院や服薬も再開でき、夫も相談しやすい担当ケアマネジャーができたことで安心し、夫婦仲良く自宅で暮らしています。



意欲が低下しふさぎ込んでいた一人暮らしの B さん
(80代 男性)

相談内容

Bさんの様子を心配した長女がもの忘れ相談会に参加し、Bさんが仕事を辞めてから物忘れが増えていることを認知症地域支援推進員に相談しました。



対応

認知症地域支援推進員が自宅に訪問し、お話を聞かせてもらうと、Bさんは物忘れを自覚し、考えたくないという気持ちやふさぎこむような様子もありました。不安な気持ちを相談する為、物忘れを診てもらえる専門医への受診を提案しました。長女と一緒に受診した結果「アルツハイマー型認知症」の診断を受け、内服治療が開始されました。外出のきっかけとなるよう地域で開催されている認知症当事者の会を紹介しました。また、民生委員と連携し地域での見守りをお願いしました。

現在の様子

認知症当事者の会に参加し、当事者同士共通の話題をお話したり、体を動かす機会にもなりました。意欲は向上し、休みがちになっていた散歩を再開、地域の方に見守られながら自宅で生活を続けています。



思い当たることはありませんか？

あてはまる項目に ☒ をつけてください。
すべてのチェックが終わったら、☒ の数を数えましょう。

チェック①	1	☐ 無表情・無感動の傾向が見られる
	2	☐ ぼんやりしていることが多い
	3	☐ 生きがいを覚えているふうがない
	4	☐ 根気が全く続かない
	5	☐ 発想が乏しく、画一的になる
	6	☐ 1日や1週間の計画が自分で立てられない
	7	☐ 3つ以上の用事を同時に並行して片づけられない
	8	☐ 反応が遅く、動作がもたもたしている
	9	☐ 同じことを繰り返し話したり、尋ねたりする
	10	☐ 相手の意見を聞かない
チェック②	11	☐ 何度教えても日付があやふやになる
	12	☐ 身だしなみに無頓着になる
	13	☐ 今までできていた、簡単な用事が出来なくなる (洗濯物の整理、食事の後片付け、草取りなど)
	14	☐ ガスの火・電気の消し忘れ・水道の閉め忘れが目立つ
	15	☐ 料理がうまくできず、味付けが変になる
	16	☐ 薬をきちんと飲めない、家族が注意する必要がある
	17	☐ 季節や目的に合った洋服を選べない
	18	☐ 昨日の出来事をすっかり忘れてしまう(例えば、昨日の老人会での出来事を忘れるのではなく、老人会があったことそのものを忘れてしまう)
	19	☐ お金や持ち物のしまい場所を忘れて「盗まれた」と騒ぐ
	20	☐ 簡単な計算もできない

出典：エイジングライフ研究所

チェック①に4項目以上あてはまる

脳(前頭葉)が元気のない状態です。

ご自身の脳の機能(はたらき具合)を『脳イキキ度チェック』で確認しましょう。
ご自身の脳の機能(はたらき具合)を把握し、脳をイキキとさせる生活習慣を学ぶことで、認知症の発症を防いだり、進行を遅らせたりすることができます。
詳しくは **岩見沢市地域包括支援センター** までご連絡ください。

チェック②に4項目以上当てはまる

認知機能や社会生活に支障が出ている可能性があります。

地域包括支援センター へご相談ください。

